



個人投資家様向け会社説明会

SCSK株式会社

(証券コード:9719)

2025年3月12日

Agenda

1.SCSKとは ～会社概要と株主還元～

2.SCSKの目指す姿と事業

～中長期の経営計画と注目の取り組み～

3.よくいただくご質問

Agenda

1.SCSKとは ～会社概要と株主還元～

2.SCSKの目指す姿と事業

～中長期の経営計画と注目の取り組み～

3.よくいただくご質問

1. SCSKとは ~沿革~

2011年10月に住商情報システム株式会社と株式会社CSKが合併して誕生

2024年12月にネットワンシステムズ株式会社を子会社化し、26年4月に経営統合を予定



1969年~

住商コンピューターサービス株式会社
(後の住商情報システム株式会社)

— 1989年:東証第二部上場 1991年:東証第一部上場
2005年:住商エレクトロニクス株式会社と合併



1968年~

コンピューターサービス株式会社
(後の株式会社CSK)

— 1982年:東証第二部上場 1985年:東証第一部上場

2011年~



SCSK株式会社誕生

つなくもすぶかわる



2024年~

ネットワンシステムズ株式会社を
子会社化。26年4月統合を予定

1. SCSKとは ～ネットワークシステムズ(株)との統合概要～

経営統合の目的

- 高度かつ最新のITインフラサービス技術とアプリケーションサービス技術を活用したソフトウェアエンジニアリングサービスの融合による事業構造の転換を目指す
- 中長期的には「デジタルインフラPaaS 事業」、「オフリングサービス事業」、「データインテグレーション・利活用プラットフォームサービス事業」を注力事業とし、先進性、成長性、収益性を更に向上させることを検討中



社名	ネットワークシステムズ株式会社
設立	1988年2月1日
上場	2001年12月20日
代表者	代表取締役社長 竹下 隆史
本社	東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー
資本金*1	122億79百万円
売上高*1	連結 2,051億円
連結従業員数*1	2,579名

事業概要

- 1988年の創業以来、一貫してネットワーク基盤の設計・構築・運用に強みをもつ
また、シスコシステムズ社製品の取扱いに関して、国内屈指の実績を誇る
- 「世界最高水準のネットワーク技術」を中核に、民間企業・通信事業者・公共機関の大規模なIT基盤の整備に貢献

1. SCSKとは ~ひと目でわかるSCSK ~

設立

55年



時価総額

約1.1兆円*1

連結従業員数

約20,000名*1

株価

3,693円*1

13期連続増配を予定!

1株当たり配当金

71円*1,3

予想配当性向

47.7%*1,3



顧客基盤

約8,000社*2

拠点数 (国内/海外)

48拠点 / 9拠点*2

提供する
ソリューション数

∞ (無限大)

約8,000社のお客様へITにかかるフルラインアップのサービスを提供

売上構成比(2024年度)

システム販売 **18.6%**

サーバー、ネットワーク機器等のハードウェア、ERP、グループウェア等のソフトウェアを仕入れ販売・導入支援を実施

システム開発 **42.2%**

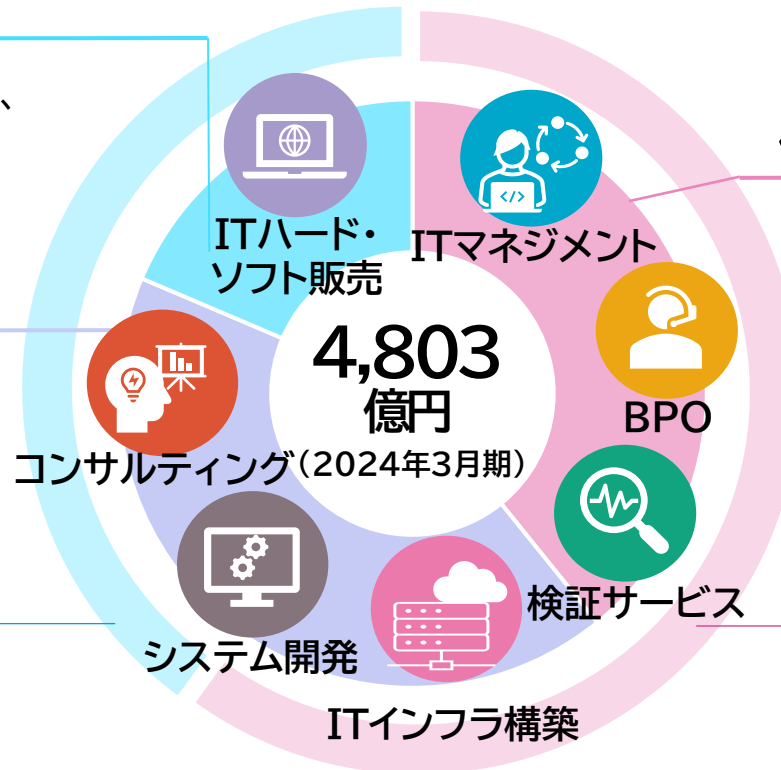
顧客のニーズに基づき、コンサルティングからシステム開発、ITインフラ構築、運用設計などを一貫提供

変動事業 約40%

保守運用・サービス **39.2%**

システムの安定稼働を支援。監視・障害対応などのITマネジメントサービスを中心に、BPO、データセンタービジネス、検証サービス等を提供

安定事業 約60%



1. SCSKとは ～SCSKの事業 こんなところにSCSK～



1. SCSKとは ~SCSKの事業 こんなところにSCSK~



通信・放送

病院

電力会社

建設・不動産

学校・教育

流通・卸

銀行

自動車

工場

例えば自動車では…

事故を未然に防ぐための配慮や快適な運転環境の提供など、進化するクルマづくりを支えているIT。

より安全・快適・便利なクルマづくりのために、SCSKはソフトウェアの面で自動車メーカー様を支援しています。

自動車

安心・安全機能

電動化機能
開発支援

次世代モビリティ
開発支援

CAE
ソリューション



詳細はWebへ

1. SCSKとは ~SCSKの事業 こんなところにSCSK~



1. SCSKとは ~SCSKの事業 こんなところにSCSK~



通信・放送

病院

電力会社

建設・不動産

学校・教育

流通・卸

銀行

自動車

工場



例えば銀行では…

インターネットバンキングやスマホ決済など、金融サービスのデジタル化により、私たちの暮らしはより便利で豊かになりました。

一方で、その利便性を悪用したマネーロンダリングなどの金融犯罪も増加しており、SCSKは、不正を未然に防ぐためのシステムを開発・提供するなど、皆さんが安心して金融サービスを利用できるようにITの面で支えています。

銀行

アンチマネー
ロンダリング対策

地域金融機関向け
スマホアプリ

市場取引管理

インターネット
バンキング



詳細はWebへ

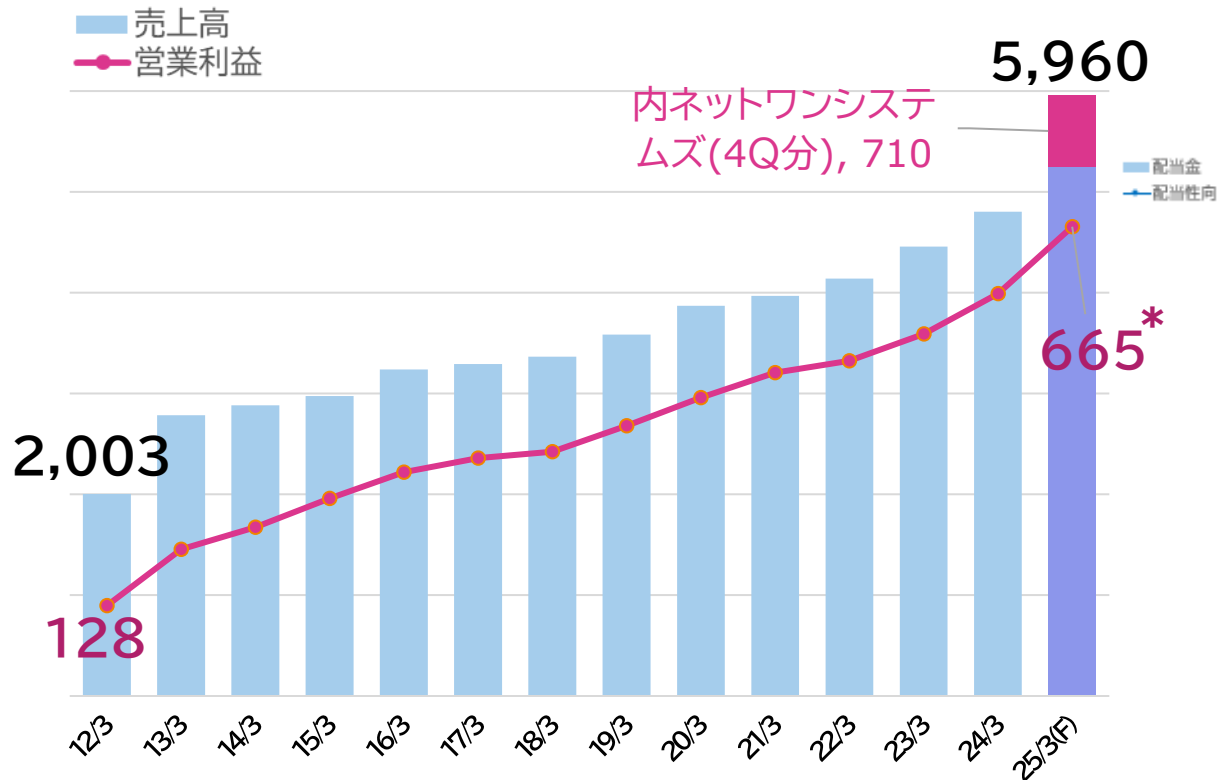
1. SCSKとは ～業績推移～

合併以来、12期連続増収・増益・増配を達成

※2021年3月期よりIFRSを適用

売上高・営業利益の推移

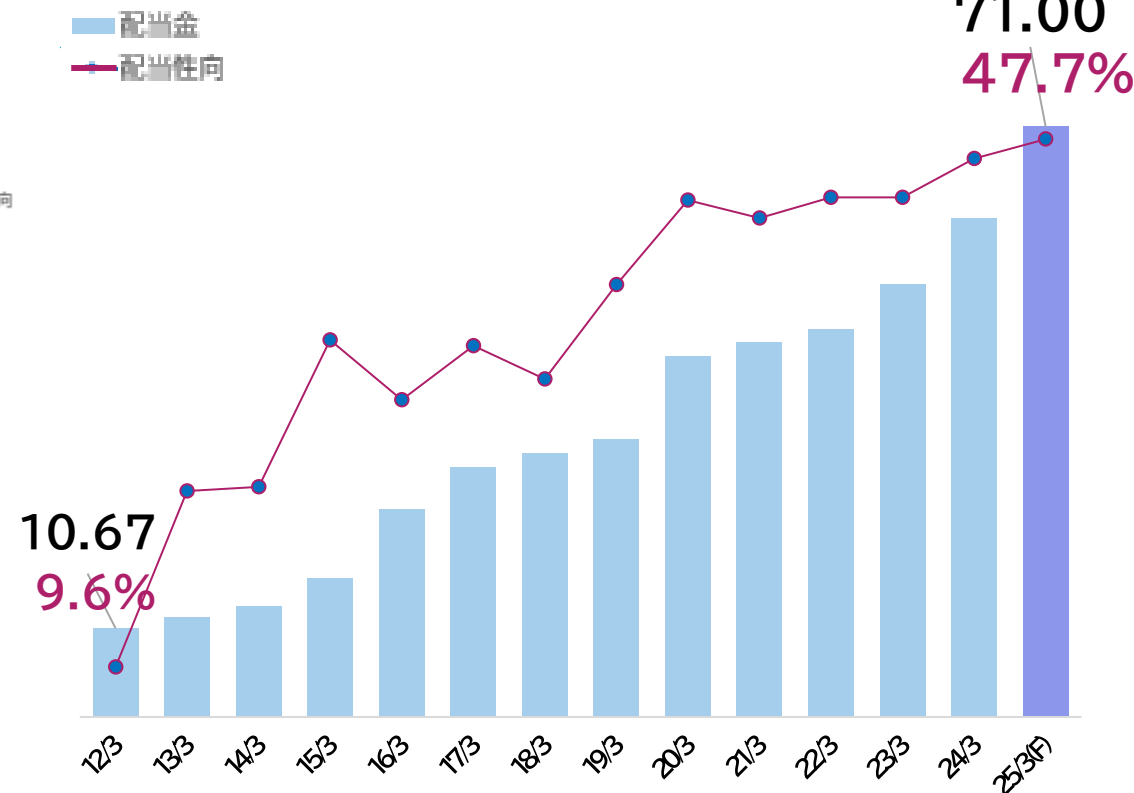
(単位:億円)



※2021年10月1日の株式分割を考慮した1株当たり配当金・配当性向

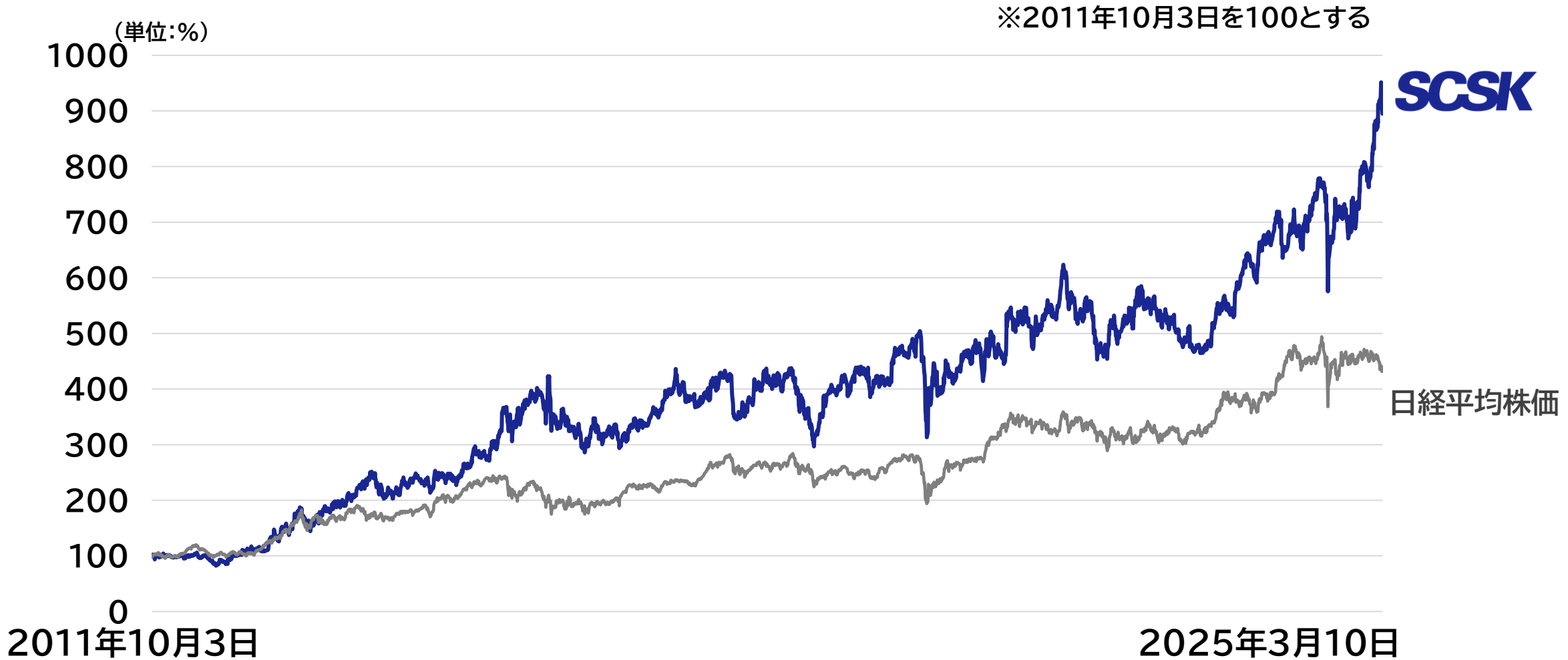
1株当たり配当金と配当性向の推移

(単位:円)



1. SCSKとは ～株価推移～

合併以来の株価推移



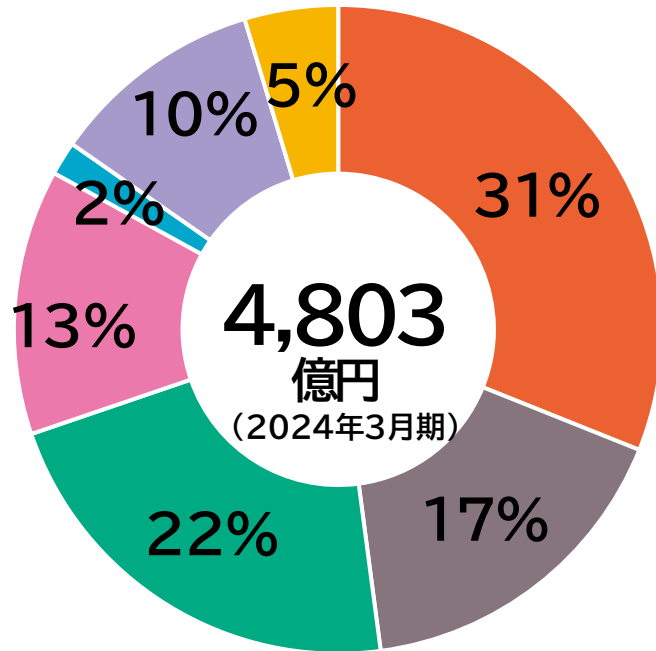
Q. どんなお客様がいらっしゃるのでしょうか？

1. SCSKとは ～優良な顧客基盤～

多様な業種にわたる 約8,000社のお客様へサービスを提供

業種別 売上高割合

- 製造業
- 流通業
- 金融業
- 通信・運輸業
- 電力・ガス業
- サービス業
- その他



業種別 売上高10億円以上の顧客数

業種	顧客数	顧客例
製造業	30社	大手自動車業 その他製造業
流通業	15社	大手商社 大手通販会社
金融業	21社	信託銀行 損害保険会社 メガバンク
通信・運輸業	6社	CATV会社 大手通信会社
その他*	19社	*電力・ガス、サービス含む
合計	91社	(2024年3月期)

Agenda

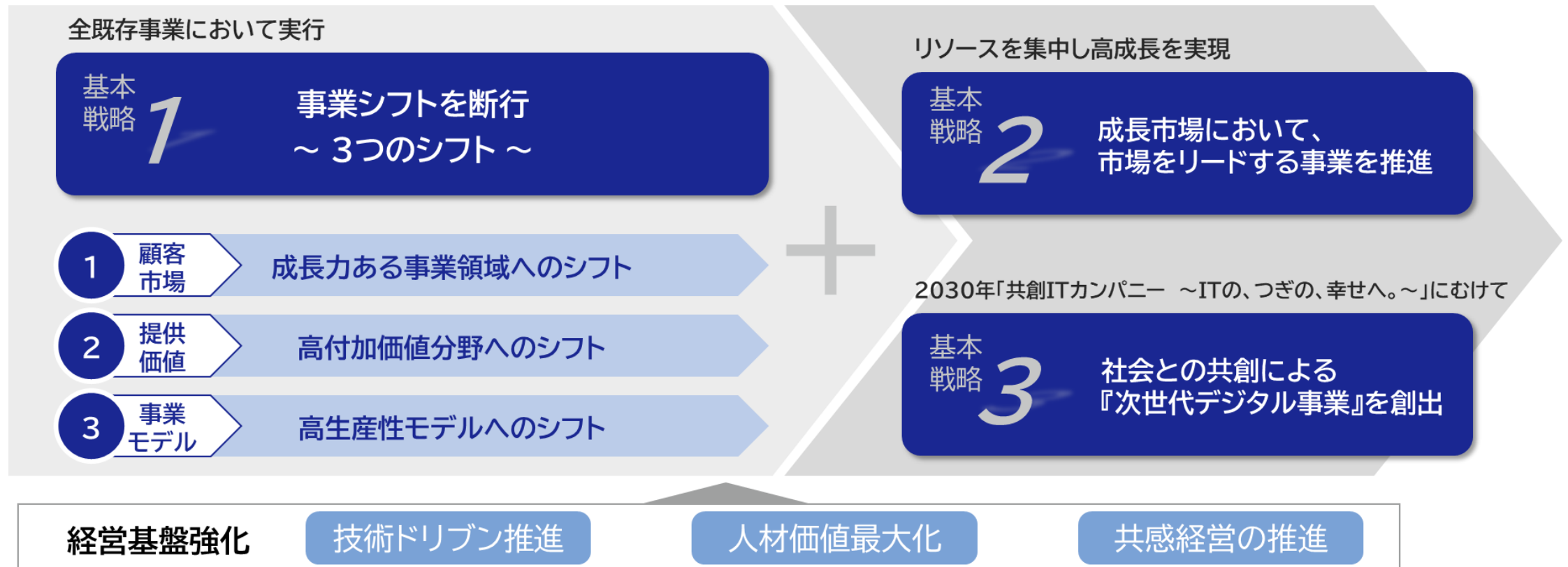
1.SCSKとは ～会社概要と株主還元～

2.SCSKの目指す姿と事業

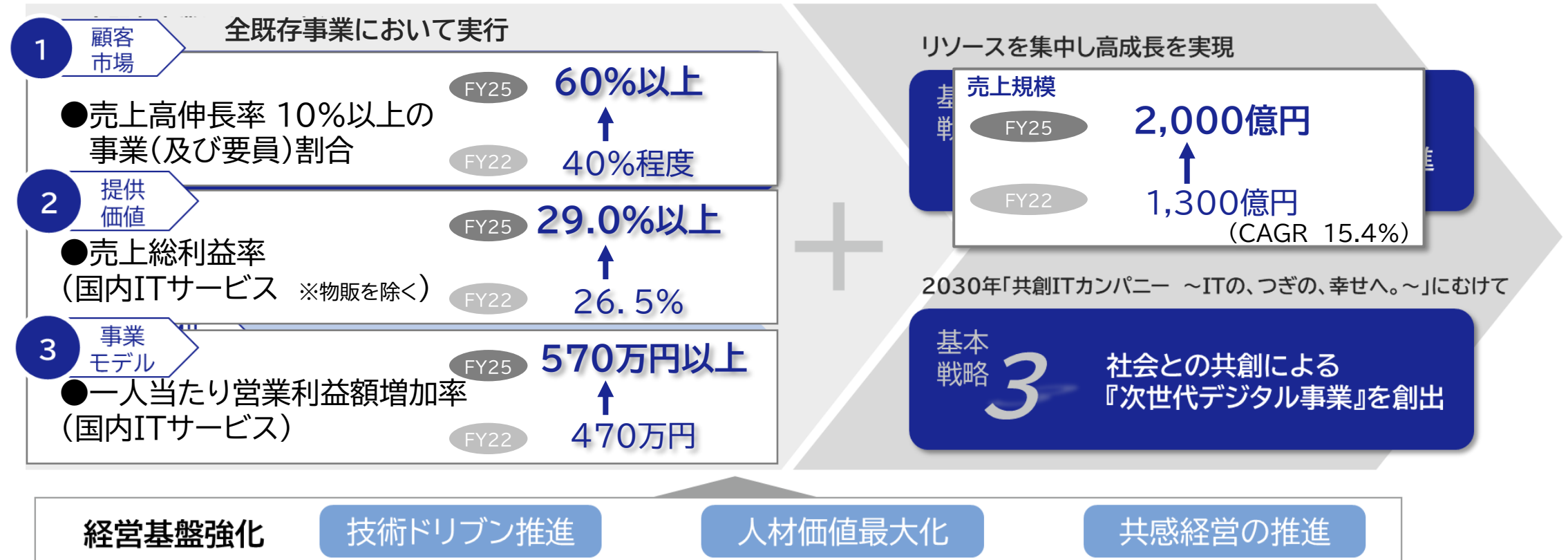
～中長期の経営計画と注目の取り組み～

3.よくいただくご質問

- “総合的企業価値”の飛躍的な向上に向け、
 - ・お客様や社会に対して、新たな価値を提供し続けるため、事業分野、事業モデルを再構築する
 - ・社員の成長が会社の成長ドライバーと認識し、社員一人ひとりの市場価値を常に最大化する



- “総合的企業価値”の飛躍的な向上に向け、
 - ・お客様や社会に対して、新たな価値を提供し続けるため、事業分野、事業モデルを再構築する
 - ・社員の成長が会社の成長ドライバーと認識し、社員一人ひとりの市場価値を常に最大化する

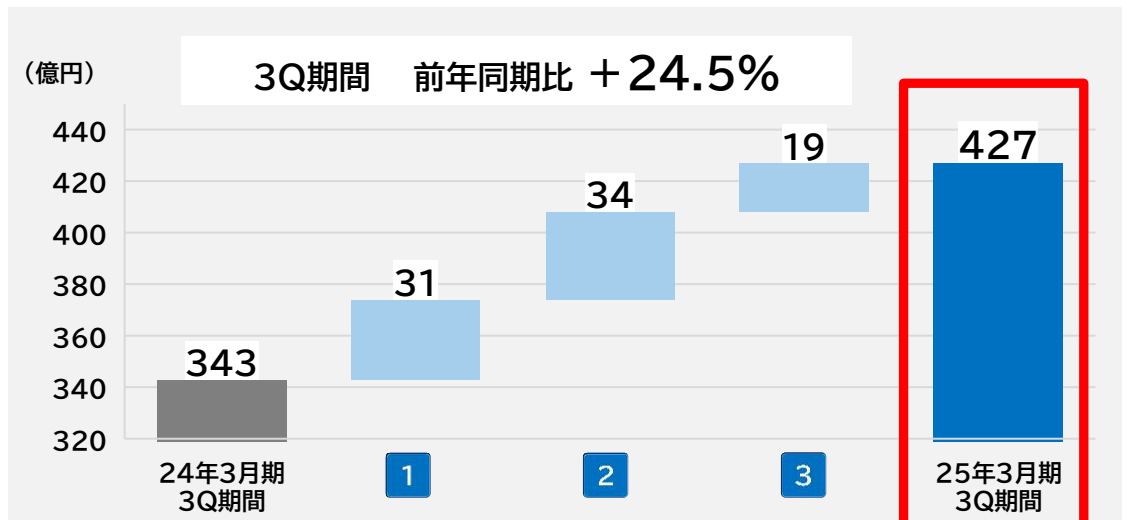
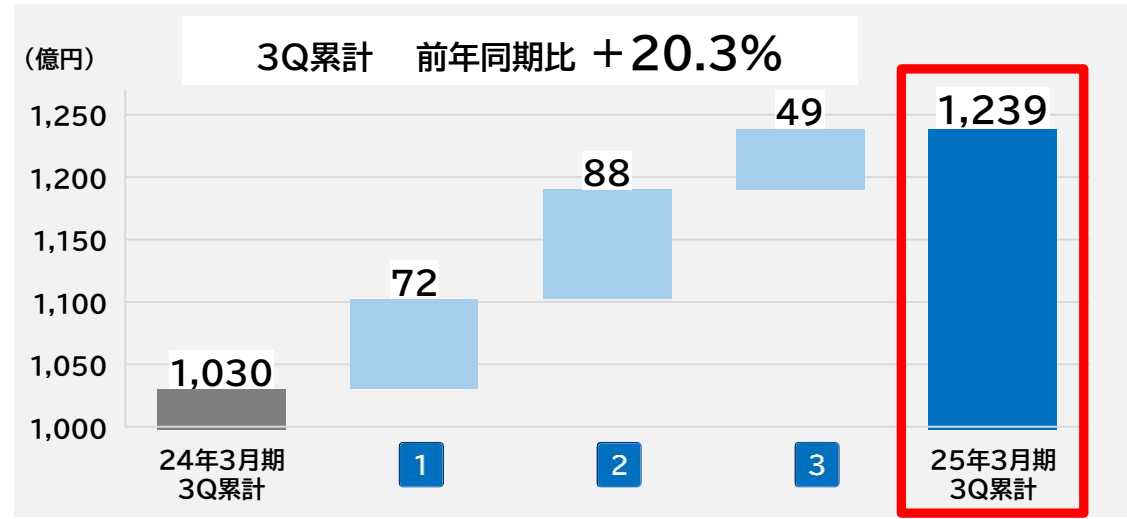


< 基本戦略2 >

成長市場において、市場をリードする事業を推進

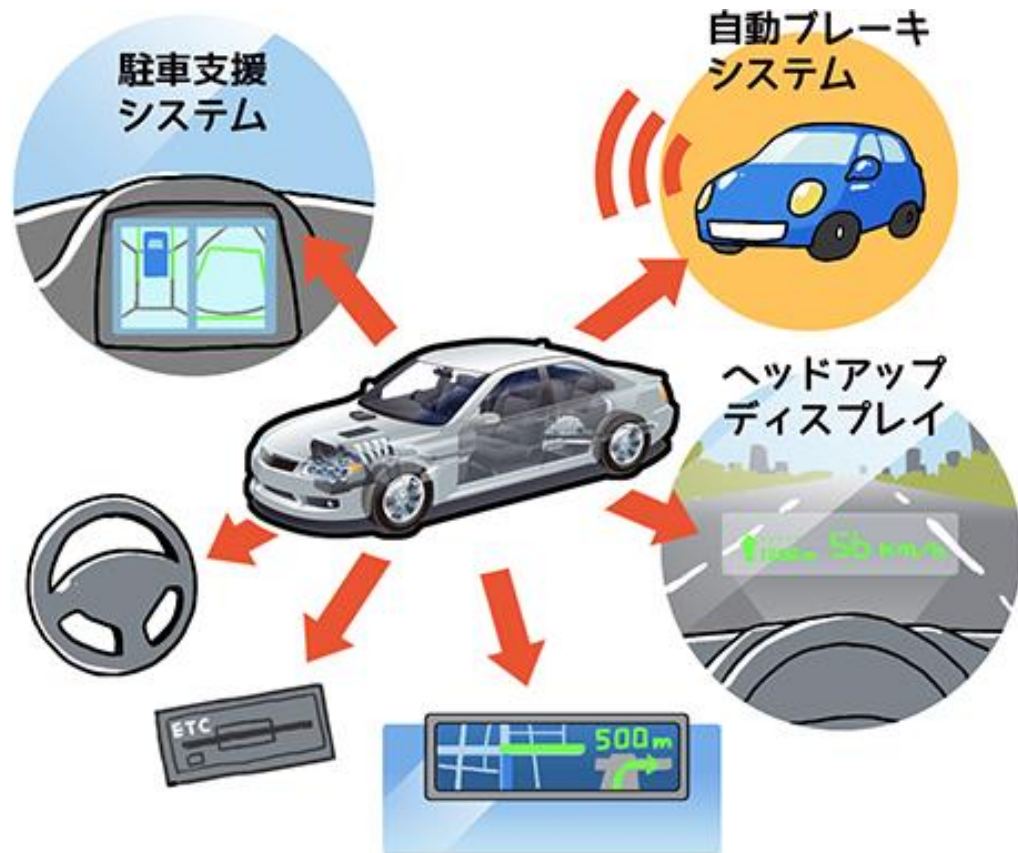
- 1 社会・顧客課題解決に向けたモダナイゼーションサービス**
 - ・ 製造領域 (デジタルサプライチェーン、atWill)
 - ・ 金融領域 (AML、ウェルスマネジメント)
 - ・ 中堅企業データドリブン経営支援 (ProActive)
 - ・ BPM (ビジネスプロセスモダナイゼーション)
 - 2 新しい価値創造に向けたイノベーションサービス**
 - ・ ヘルスケア (医療分野向けデジタル業務改革支援)
 - ・ モビリティ (SDM時代をリードするモビリティソフトウェア開発)
 - 3 社会のデジタル化を支えるインテグレーションサービス**
 - ・ セキュリティ
 - ・ データインテグレーション
 - ・ クラウドインテグレーション
- ↕
- デジタル化の潮流を捉えるマーケットエクспанション**
- ・ グローバル (エマージングマーケットでのデジタル改革)

売上規模の推移



Q. SCSKの強みであげられた事業は
どのようなことをされているのでしょうか？

自動車内で用いられるソフトウェアの例



お客様とのパートナーシップ事例

本田技研工業様とソフトウェア開発領域における
戦略的パートナーシップに基本合意 (2023. 7)

- ソフトウェア中心のクルマ作りが加速する
Software Defined Mobility(SDM)時代に向けた双方の戦略を実現する協働開発関係に深化
- 2030年に国内で1,000名を超える規模のモビリティエンジニア体制を構築
- 様々な領域での協業や取り組みを予定
 - ・ 次世代電子プラットフォームのオペレーティングシステム
 - ・ 電動パワートレイン
 - ・ 先進安全、自動運転
 - ・ IVI(インビークルインフォテインメント)

大手製造業のお客様へSAPを中心としたERPを導入し、デジタル変革を支援

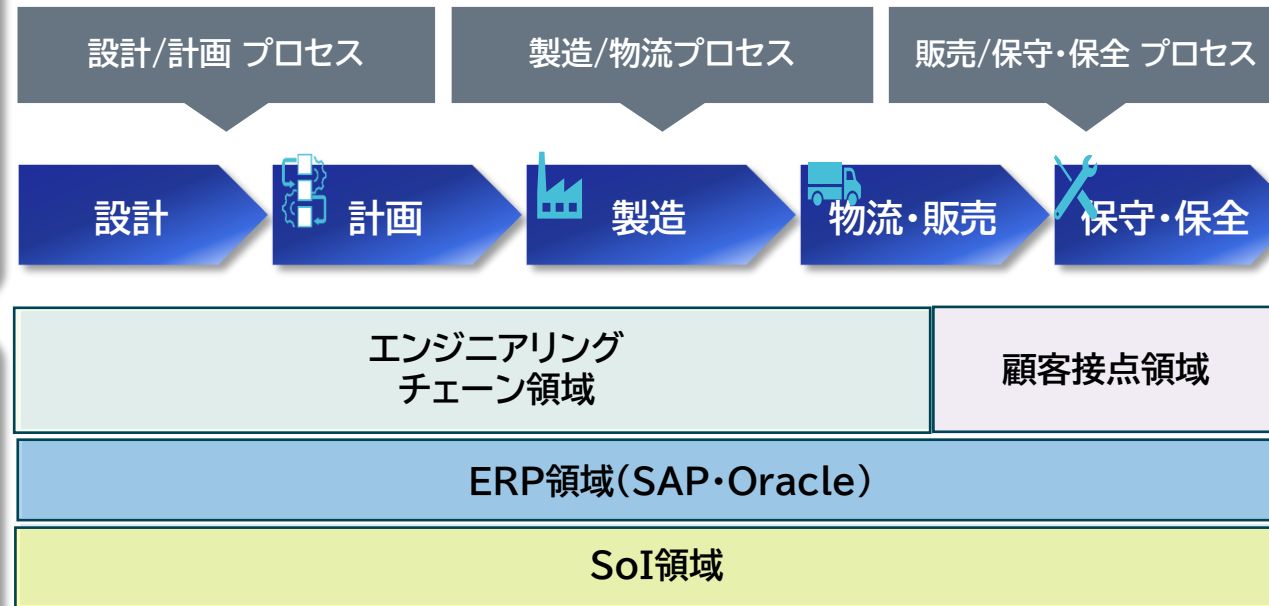
●領域毎の進捗状況

[ERP]

- 市場環境は引き続き活況
(日銀短観:製造業YoY+21.6%)
- 複数の大手製造業顧客より従来にない大規模の基幹システム構築案件を受注。
(今期複数案件の上流フェーズが平行稼働)

[戦略領域]

- サプライチェーン全体のデータ連携による可視化と業務プロセスの高度化の領域にフォーカス
- エンジニアリングチェーン、顧客接点、SoIを注力領域とし、ノウハウや事例を集約し顧客へ提供できる体制へと進化



●今後の取組み

【知財化の促進】
製造業向けSoI確立に向けて
自社知財(Add-Value for Insight)
の高度化に注力

【業務・ITコンサルティング力の強化】
上流から実装レイヤーまでの
トータルサービスを狙う

【AI駆動開発による生産性向上】
先端AI技術を主要プロダクト
(SAP ABAP/Informatica/Aras)
に合わせて活用

AMLソリューション

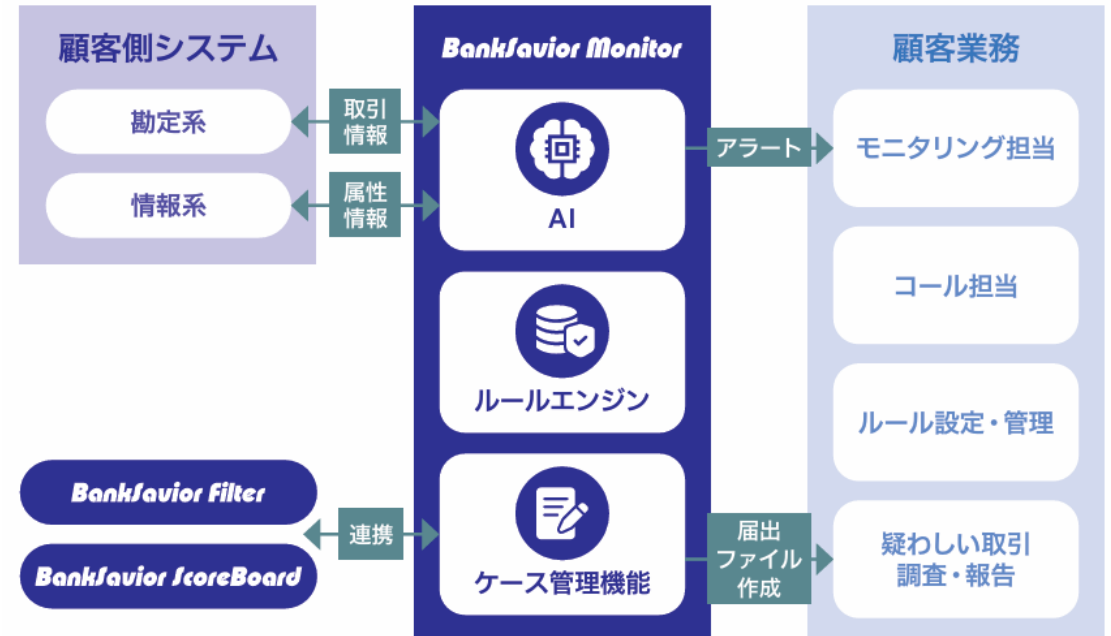
金融犯罪の未然防止に貢献し、
信頼できる金融サービスを実現する

「BankSaviorシリーズ」

- 2005年、金融機関向けに特殊詐欺等の不正取引をモニタリングする「BankSavior Monitor」の提供を開始
- 現在、顧客のニーズに合わせ、BankSavior®シリーズにフィルタリングと顧客リスク評価機能を加え、クラウド基盤を活用したサービス提供型の次世代BankSavior®を開発・提供中
- 銀行、資金移動業、カード、証券、保険などさまざまな業種で80社を超えるお客様へ展開

システムの特徴・構成

BankSavior





情報セキュリティに関わる脅威*

個人情報の窃取 脆弱性をついた攻撃

不正ログイン

ランサム攻撃

...

事業概要

- 幅広いパートナー様のソリューションを取り扱いをはじめ、セキュリティ教育支援やCSIRT構築支援、セキュリティアセスメントの実施など、セキュリティにかかるサービスを網羅的に提供
- 2023年、セキュリティの専門会社「SCSKセキュリティ」を設立し、プロダクト事業とサービス事業の両輪で、お客様のサイバーセキュリティにおける課題解決を支援

*【出典】情報セキュリティ10大脅威 2025 [IPA 独立行政法人 情報処理推進機構]より抜粋

2. SCSKの目指す姿と事業 ～25年3月期 通期 業績・配当予想～

(単位:百万円)

	25年3月期 修正前予想(A)	25年3月期 修正予想(B)	増減額 (B-A)	増減率
売上高	510,000	596,000	86,000	16.9%
売上総利益	138,000	158,300	20,300	14.7%
売上総利益率	27.1%	26.6%	△0.5%	
販売管理費	△ 76,500	△ 90,800	△ 14,300	18.7%
その他収益及び費用	500	△ 1,000	△ 1,500	
営業利益	62,000	66,500	4,500	7.3%
営業利益率	12.2%	11.2%	△1.0%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	44,500	46,500	2,000	4.5%
1株当たり 年間配当金(円)	68.00	71.00	3.00	
配当性向	47.7%	47.7%		

2. SCSKの目指す姿と事業 ～中期経営計画での成長・還元ストーリー～

【業績・財務目標】

	2023年3月期(実績)	2026年3月期(計画)*1	増減額	【ご参考】	
				2025年3月期(予想)	
				SCSK単独	NOS含む合計*2
売上高	4,459億円	-	-	5,250億円	5,960億円
営業利益	513億円	650億円	136億円 (26.6%増)	620億円	665億円
営業利益率	11.5%	12.5%	1.0pt	11.8%	11.2%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	373億円	-	-	-	465億円

【株主還元】

	2023年3月期(実績)	2026年3月期(計画)	増減額	2025年3月期(予想)	
1株当たり配当金	52.00円	-	-	71.00円	
配当性向	43.5%	50.0%	6.5pt	47.7%	

2. SCSKの目指す姿と事業 ～経営指標(非財務)～

人材ポートフォリオ・ 人材育成

コンサルティング機能拡充・事業開発強化

コンサル・ビジネスデザイン人材
500名以上
[2024年3月期 319名]

デジタル先進技術者育成

先進技術者育成研修修了者
3,000名以上
[2024年3月期 1,745名]

質の高いプロジェクト遂行

高度PM人材
250名以上
[2024年3月期 183名]

全社教育・育成強化

グループ全IT技術者 デジタルスキル標準教育修了者 10,000名 [2024年3月期 3,772名]

Well-Being・ D&I推進

働きやすさと働きがいの実感

社員意識調査
エンゲージメント
90%以上 ※1

心身の健康とパフォーマンス発揮

社員意識調査・健康アンケート
パフォーマンス発揮度
90%以上 ※2

多様性と包摂の深化

部長級の女性数
3倍以上
[2024年3月期 1.3倍]

温室効果ガス排出量 の削減

温室効果ガス排出量削減率 (2019年度比)

Scope1+2

2030年度
47%削減
2050年
100%削減

[2024年3月期 約23%減]

Scope3

2030年度
28%削減

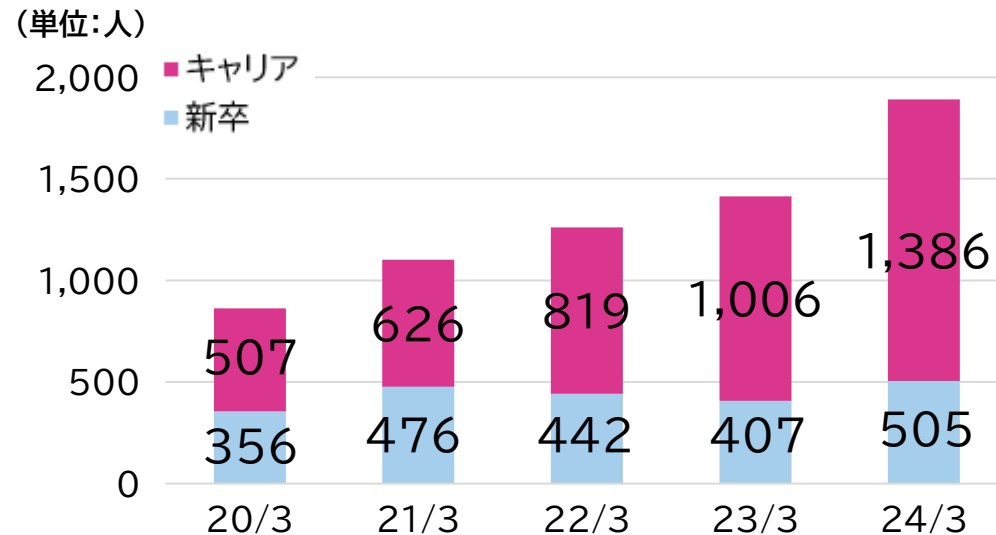
[2024年3月期 約9%増]

※1 社員意識調査で、「働きやすい会社」および「やりがいのある会社」の両項目にポジティブ回答を行った社員の割合。2024年3月期の実績(単体)は、それぞれ89.3%、78.0%。なお今後は調査対象範囲を国内グループ会社に拡大する予定
※2 社員意識調査で、「自分の能力が十分活かされている」項目にポジティブ回答し、さらに健康アンケートで「健康な状態で発揮できるパフォーマンスを100%としたときに80%以上発揮出来ている」と回答した社員の割合。2024年3月期実績(単体)は、それぞれ76.1%、80.2%。本指標についても、※1と同様に今後は調査対象範囲を国内グループ会社に拡大する予定

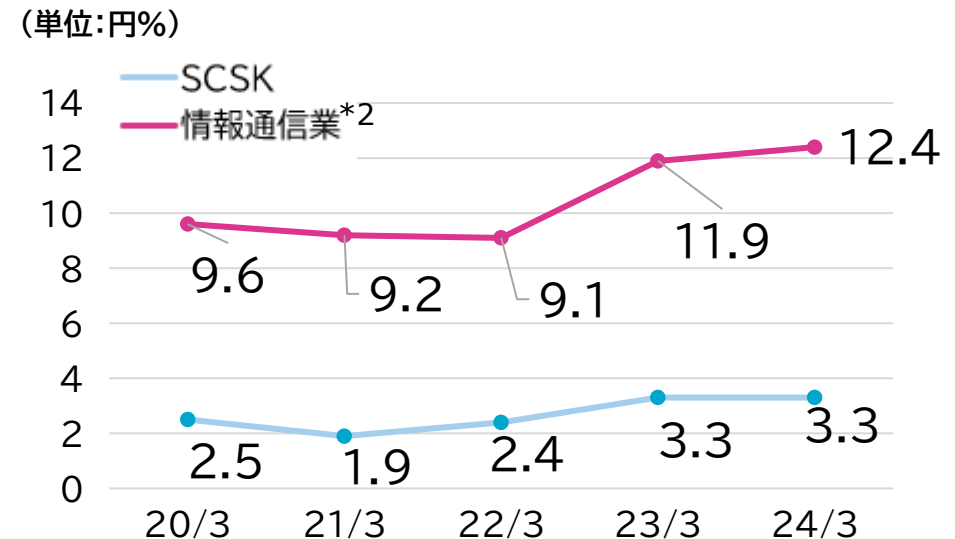
Q. 人材確保の状況はいかがでしょう

人が全てのSCSKにとって、人的資本経営は事業経営そのもの
 社員の成長が会社の成長ドライバーと認識し、
 社員一人ひとりの市場価値を常に最大化（⇒人材価値最大化）

採用数の推移

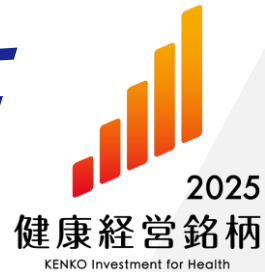


離職率*1の推移



2. SCSKの目指す姿と事業 ～ひと目でわかるSCSKの働く環境～

「健康経営銘柄」に
11年連続で選定



「健康経営優良法人
(大規模法人部門)
『ホワイト500』」に
9年連続で認定



平均残業時間 *1
22 時間

有給休暇取得率 *2
89.5%

育児休業復帰率 *1
99.1 %

リモートワーク実施率 *2
47.4 %

「人的資本リーダーズ2024」
および
「人的資本経営品質 2024 (ゴールド)」に選定



Agenda

1.SCSKとは ～会社概要と株主還元～

2.SCSKの目指す姿と事業

～中長期の経営計画と注目の取り組み～

3.よくいただくご質問

Q. 株主優待・自社株買いなどの株主還元の方方向性を教えてください

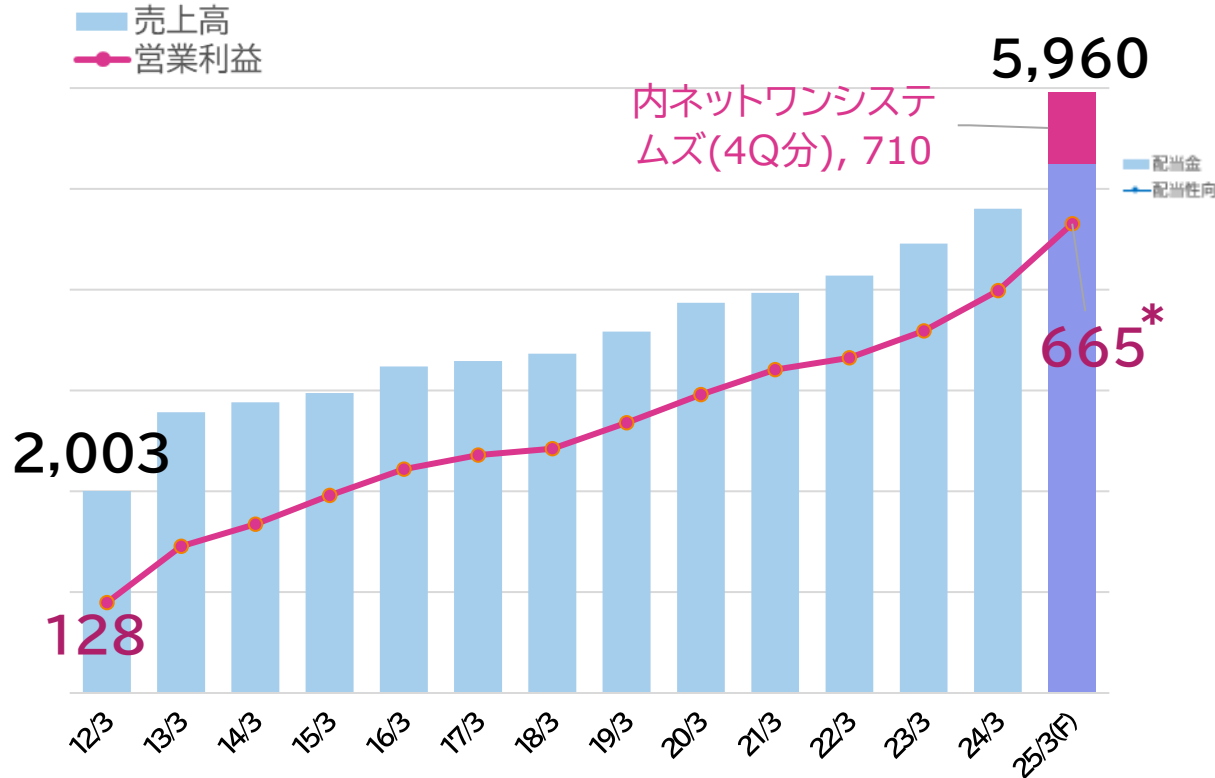
1. SCSKとは ～業績推移～

合併以来、12期連続増収・増益・増配を達成

※2021年3月期よりIFRSを適用

売上高・営業利益の推移

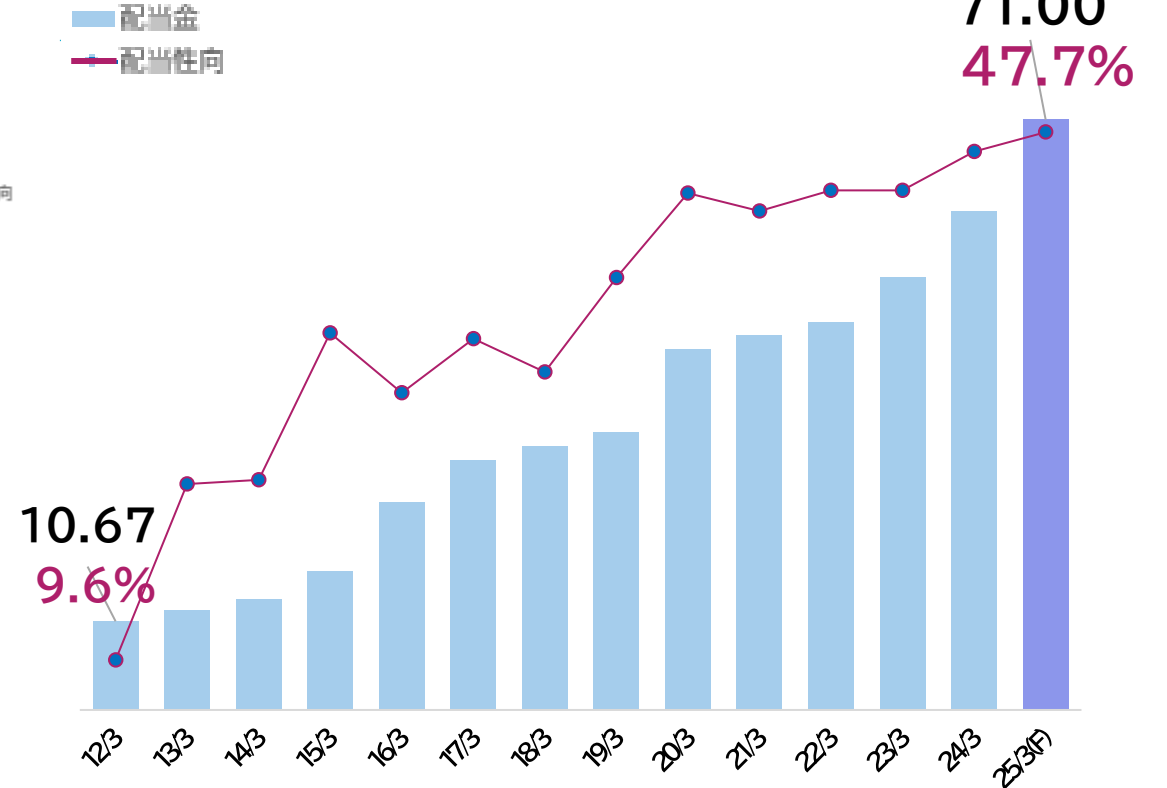
(単位:億円)



※2021年10月1日の株式分割を考慮した1株当たり配当金・配当性向

1株当たり配当金と配当性向の推移

(単位:円)



Q. 生成AIに関する取り組みを教えてください

中期経営計画の推進状況 (トピックス) SCSK

– AIの戦略的専門組織の設置および生成AI(SCSK Generative AI)活用に向けた取り組み –

フェーズ①
触ってみる

- 社内に「気軽に」触れる環境を提供し、AIの面白さ・凄さを体感する
- SCSK-GAIを社内提供 (グループ含め利用者10,000人超)

フェーズ②
アイデア創出

- 各組織における現場活用アイデアを発想・共有する
- アイデアキッチンを開始 (社内各部署にてワークショップ実施、環境を使いながらアイデア整理)

フェーズ③
PoC

- AI CoEでPoCを実施し、活用可能なアイデアを形にする
- サービス提供 (各現場業務におけるサービス、プロダクト付加価値)

中期経営計画の推進状況 (トピックス) SCSK

– 上流工程やPRJ遅延の予兆検知に生成AIを活用し、質的な側面で生産性と品質の向上を目指す –

工程	適用作業	工程	適用作業
要件定義	既存システム要件把握支援	環境構築	インフラ設計、環境構築・テスト
	要求・要件ヒアリング支援	運用構築	運用設計、運用構築・テスト
	要件定義書作成支援	リリース	教育、サポート
	要件定義レビュー	運用	運用自動化 運用報告
設計	設計支援	保守	不具合調査、影響調査
	設計レビュー		リファクタリング、仕様化
実装	コーディング支援		要件引継ぎ支援
	コード仕様書作成	保守開発	マイグレーション
	コードレビュー		移行テスト
テスト	テスト設計支援	管理	PM/PMO作業支援
	テスト設計レビュー		
	テストコード/データ生成		
	テスト結果分析		

Copyright © SCSK Corporation 14

(24年3月期 第2四半期決算説明会資料)

要件定義工程での適用検証

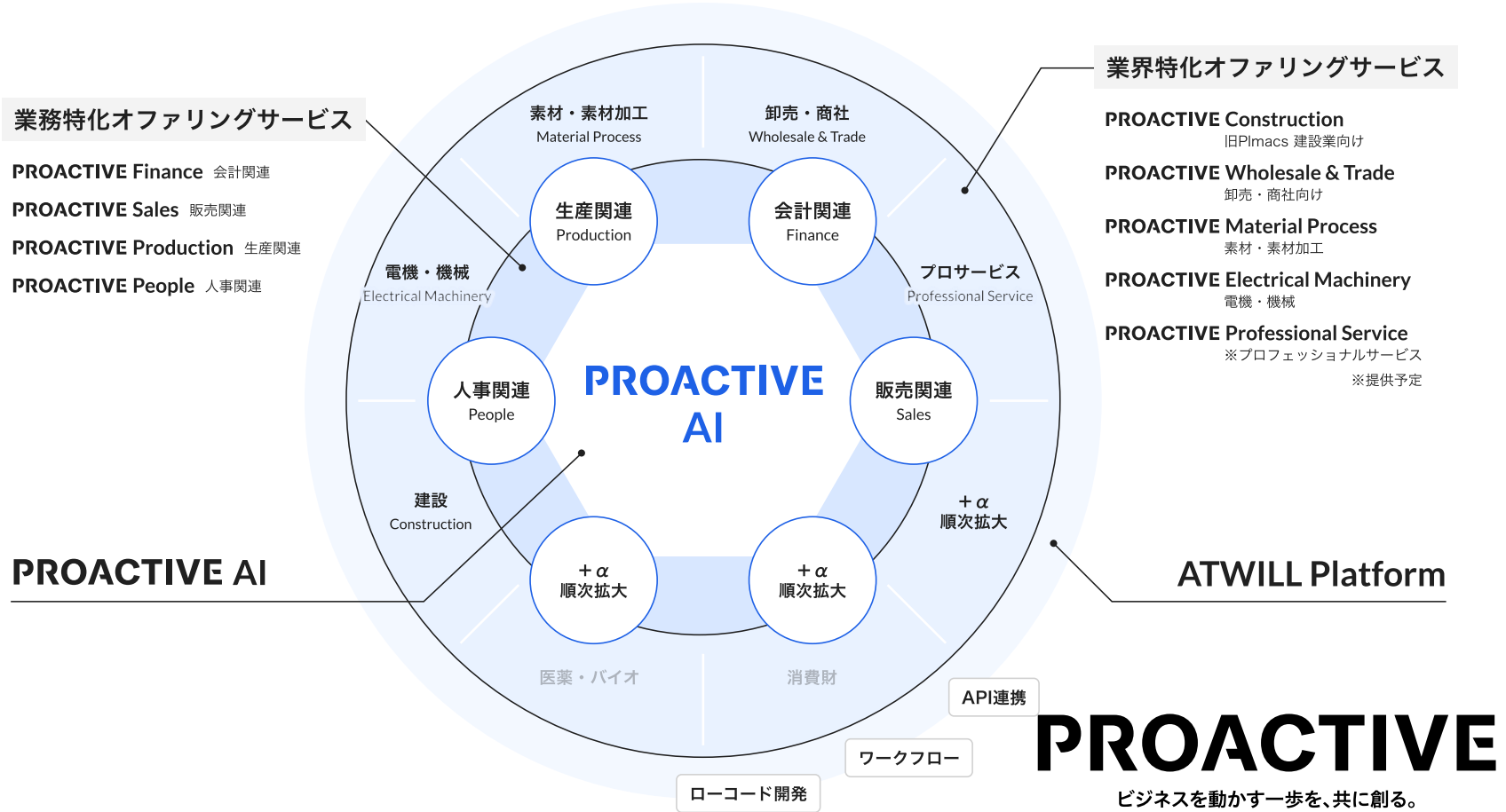
- 自社システムの開発において適用検証を実施
 - ・ 要件定義書への記載項目の検討からドラフトレベルのドキュメント作成が可能であることを確認
- 生成AIに要件を読み込ませることで、仕様確認による調査工数の削減、専門用語の確認等についての副次的な効果も期待

実装及び単体テスト工程での適用検証

- 同じく自社システム開発において検証を実施
 - ・ 概ね20-30%の生産性向上を確認
- 特に単体テスト工程においては作業時間、作業品質両側面において大幅な生産性向上を見込む

SCSKの知財での活用

- 国内初のERPパッケージ「ProActive」と「atWill」、 「PImacs」を統合し、2024年11月、AIセントリックな『PROACTIVE』へ進化
- 会計・人事給与・販売管理・生産管理などの業務機能に加えて、業務ノウハウやAI技術、さまざまな知財を組み合わせることで、業務特化・業界特化オフリングサービスを提供



Q. サステナビリティに関する活動について教えてください

3. よくいただくご質問 ～社会貢献活動「CAMP」～

活動内容

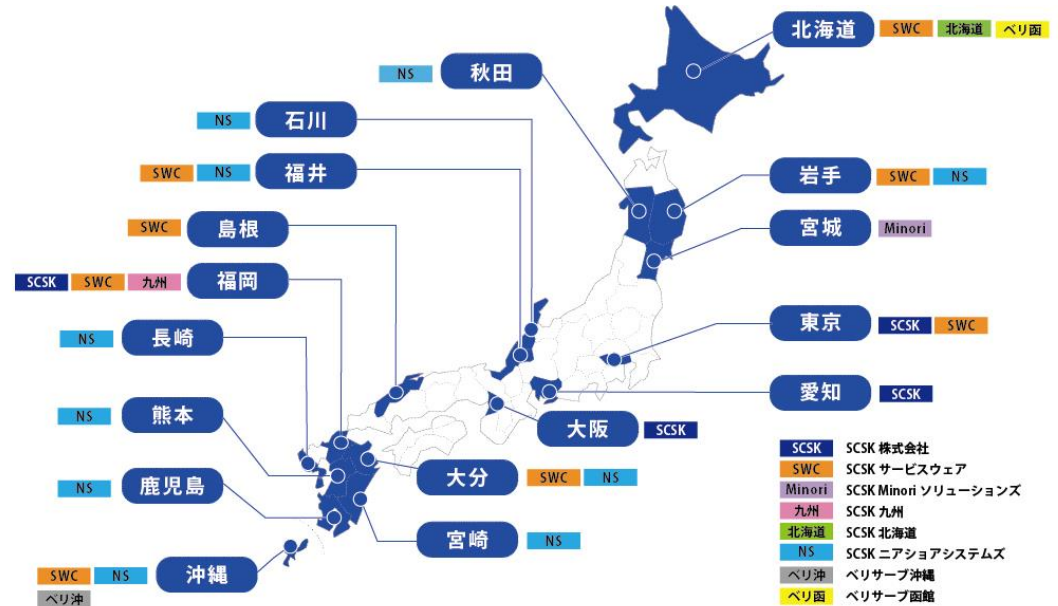
～社会貢献活動「CAMP」～



- CAMP(Children's Art Museum & Park)は、未来を担う子どもたちに向けたSCSKグループの次世代育成活動
- ワークショップを通じて、いろいろな表現方法を知り、共創活動により、子どもたちに必要な社会性、他者や多様性を受け入れ楽しむ心を育む



CAMPの詳細情報はこちら
<https://www.camp-k.com/>



Q. 最近の押さえておくべきトピックスを教えてください

弊社ホームページに統合報告書や、IRイベントの動画を掲載しております。是非、ご覧ください。

統合報告書2024



[URL] [SCSK株式会社 統合報告書2024](#)

個人投資家様向けWebサイト



[URL] [株主・投資家情報:個人投資家の皆様へ | SCSK株式会社](#)

SCSK

夢ある未来を、共に創る。